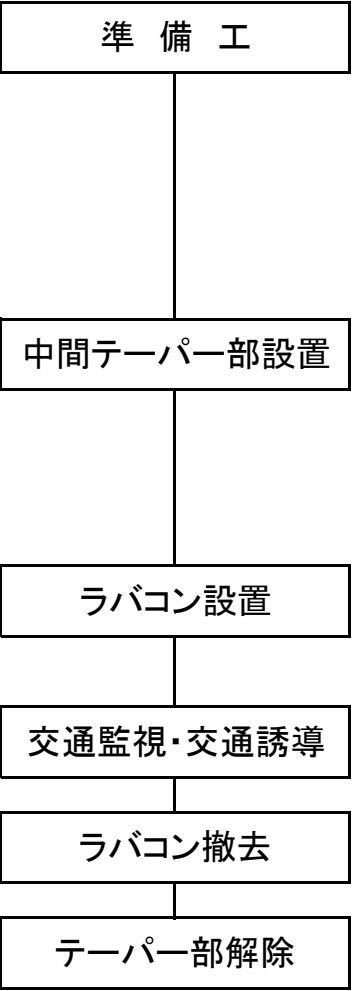


中間テーパー部 の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業人員・車両の確認 規制材数量確認 作業箇所の確認	作業分担・配置の確認 矢印板枚数(6枚/箇所)・警告灯・発煙筒(1～3本程度/回)の確認 絞り込み位置の打ち合わせ 規制材器具の事前点検を実施し異常が確認されたものは使用しない。
規制材を積んだ2t車で流出ノーズ側へ保安員の合図で横断する 流出ノーズ付近ゼブラ帯内にて規制材準備 保安員の合図でテーパー設置開始 テーパー手前5m程度の位置に保安員を配置する 発煙筒(1～3本程度)で注意喚起する 20m間隔で矢印板を3+3枚で車線・ランプをしぼる 警告灯(電池式)を1枚目矢印板の後方位置に設置する。	ノーズ側への移動時、合図誘導の徹底 規制材数量の確認 交通の流れをよく見てとぎれを確認する 保安員は走行車両から目を離さず危険な場合は警告をする 線形の悪い場合は保安員の増員及び発煙筒を複数設置し、 注意喚起する 矢印板・警告灯は土嚢等で固定する。
ラバコンを20m間隔に設置する	車両発進・停止合図(笛、合図)
交通監視員は、巡回などでテーパー監視し、異常があれば是正する	是正する場合、走行車両に十分注意し是正を行う。 作業が1人では、危険であると判断した場合は応援を要請する。
規制材車を後退しながらラバコンを積みこむ	後退誘導実施
機材車(2t車)をゼブラ帯に停車させ矢印板をすべて撤収する。 交通監視員はテーパー撤去作業前にテーパー先端に移動し、発煙筒・旗 等により一般車に注意喚起する	後退誘導実施 保安員は走行車両から目を離さず危険な場合は警告をする

注意事項	テーパー設置、撤去は非常に危険なので保安員・作業員は走行車輛から目を離さない 発煙筒の有効使用(※転がり防止の確認、燃焼中の監視徹底、小型消化剤の携行確認) テーパー位置の確認(線形による見通しの良い位置) 矢印板には飛散防止の土嚢(15～20kg)を丈夫なロープ・カラビナ等を用い取り付ける 荷台上での作業動線を確保し、転倒・墜落に気を付ける 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する 規制内の車両を後退誘導する際には運転者と誘導方法など打合せ後誘導する。 規制標識設置の際はフックと押え板に隙間がなくしっかりと固定されていることを複数人で揺らして確認する。
------	---